



脳神経の病気を早期発見

目の症状で、

病院長 吉田 泰久

脳卒中をはじめとする脳の病気は、複視や半盲、一過性黒内障といった目の症状から見つかります。吉田病院は、地域の先生方からご紹介いただき、MRIなどを用いて鑑別診断をさせていただいています。また24時間、日本脳卒中学会専門医、脳神経外科学会専門医、脳神経血管内治療学会専門医が救急対応し、専門的な治療を提供できるようにしております。急性期が終わったあとのリハビリも回復期病棟で神経疾患に特化した専門的リハビリをトレーニングを受けた療法士が担当いたします。さらに、訪問リハビリや定期的な画像診断で、地域の先生方と連携しています。

高齢者の脳の病気を

目の症状で早期発見

神戸市でも高齢化が進み、いろいろな併発症をお持ちの方がふえてきました。症状が固定する前の早期発見により、適切な予防策ができる場合もたくさんあります。脳卒中をはじめとする脳の病気で、構音障害や運動障害を生じるのはよく知られていますが、目の症状から脳神経疾患が見つかるケースも多くあります。患者さんは目の症状があると、かすかでも気づくものです。一般の方は目の異常があると眼科を受診することが多く、眼科の先生から脳神経外科によくご紹介いただきます。地域の先生方には、気になる目の症状がある患者さんを気軽に相談いただければ幸いです。

目の症状で、脳の病気を疑う

目で見た像は網膜に刺激として伝わり、視神経を介して最終的に脳で処理されます。目から脳の経路のどこに異常があっても、患者さんが訴えるのは「目がおかしい」という症状です。脳の病気が目に現れる典型的な症状には、複視・眼瞼下垂などの眼球運動障害、半盲をはじめとした視野障害、片眼の一過性制視力低下（一過性黒内障）などが挙げられます。それから考えられる脳神経疾患として脳梗塞や脳出血による神経核、経路の障害、下垂体腫瘍など脳腫瘍や膿瘍などによる脳・神経圧迫による障害、特殊なものとしては、脳動脈瘤による動眼神経圧迫、海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻などもあります。また、目の症状を呈する脳神経内科的疾患として重症筋無力症、多発性硬化症などもあります。

片目では正常、両目で見ると二重に見える「複視」

脳は両眼の軸を自動的に制御して両眼視で像が一つに見えるように調節しています。物が二重に見える症状がある際は、片眼あるいは両眼で見た場合かの確認が診断の鍵です。片眼でもぶれて見えるなら、角膜や水晶体の形状による可能性が高いでしょう。片眼では正常に見えるのに、両眼で見ると物が二重に見える症状は複視で、脳神経の障害を疑います。眼球運動を司る神経核は中脳・橋といった脳幹にあります。脳梗塞や脳出血、脳腫瘍などにより、脳幹障害がおこった場合は、構音障害や四肢の感覚障害、運動障害を伴うケースがよくあります。また、脳幹から眼窩内までの神経走行路で障害を受けた場合にも複視がおこります。内頸動脈瘤による動眼神経麻痺、海面静脈洞部動静脈瘻による外転神経/動眼神経麻痺などがあげられます。

両目とも視野が半分欠ける「半盲」

片眼の視神経が障害されると、障害側だけの視力低下や視野欠損が生じます。一方、視交叉以降の脳内の視覚路で障害があると、両眼視での視野欠損がおこります。障害される場所により半盲または1/4盲の症状がでます。例えば、脳梗塞で一侧の後頭葉が機能しなくなると、両眼視で反対側の半分の視野がかかる同名半盲がおきるといった具合です。

急に片目が見えにくくなる「一過性黒内障」

一過性黒内障は、急に片眼の全視野が暗くなったり、霧のように白く見えにくくなったりする症状で、通常は数秒から1分以内に回復します。網膜動脈は頭蓋内に入るすぐ手前で内頸動脈から分岐しているため、頸動脈のプラークからの塞栓が網膜動脈に迷入すると血流障害によって片眼の視力障害がおこります。一過性黒内障がおきると、同じプラークから次は脳梗塞を発生する可能性があります。一過性黒内障は、高齢者や高血圧、糖尿病、高脂血症といった血管障害の危険因子をもつ患者さんにおきやすい特徴があります。症状が怪しければ、脳血管障害のリスクと考えて早期に頸部の血管精査、塞栓源の検索をした方が良いと思われず。

インタビュー全文をWEBページにて公開しています。

<https://www.yoshida-hp.or.jp/column/interview/index14.html>

TOPICS

- ・高齢者の脳の病気を目の症状で早期発見
- ・目の症状で、脳の病気を疑う
- ・片目では正常、両目で見ると二重に見える「複視」
- ・両目とも視野が半分欠ける「半盲」
- ・急に片目が見えにくくなる「一過性黒内障」
- ・原因を調べて専門的な治療を行い、フォローが大切
- ・MRIによる画像診断で適切な治療を
- ・単眼の症状は眼科、両目で見ておかしければ脳神経外科へ



メルマガ登録はこちら

吉田病院メールマガジン <https://www.yoshida-hp.or.jp/tiiki/newsletter.html>

日々の診療にお役立て頂ける脳疾患に関する専門的な情報や当院の取り組みにをメルマガにて配信しています。

※配信停止などはいつでも行って頂けます。



社会医療法人 榮昌会
吉田病院 附属脳血管研究所

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2-6

TEL:078-576-2773 FAX:078-577-2792

<http://www.yoshida-hp.or.jp/>

患者さんのご紹介や当院へのご意見などは地域医療連携室にお気軽にご連絡ください。

TEL:078-576-1520 (平日 9:00~16:30 土曜 9:00~12:00 ※祝祭日は除く)